

世界社会学会議 横浜大会ニュース No.2

2012/11/26

世界社会学会議組織委員会

社会学系コンソーシアムおよび加盟学協会のみなさまへ

2014年7月に開催予定の世界社会学会議横浜大会の件では、日頃たいへんお世話になっております。この場を借り、改めまして御礼を申し上げます。

大会への参加を考える際に重要な、いくつかの締め切りが近づいてまいりました。そこで、社会学系コンソーシアムのご好意により、加盟学協会のみなさまへ、大会に関する必要な情報をご案内させていただくことにいたしました。本文書が、貴学協会のご活動にとりましても、お役に立つことがあれば、たいへん幸いに存じます。

【世界社会学会議横浜大会について】

すでにさまざまな形でお知らせしてまいりましたが、2014年7月13日～19日にかけて国際社会学会（International Sociological Association: ISA）の第18回世界社会学会議横浜大会が開催されます。世界社会学会議は、オリンピックやサッカーのワールドカップと同様に4年に一度開催される、社会学界最大の研究集会です。世界社会学会議が東アジアで開かれるのは、今回がはじめてとなります。

【ISA：国際社会学会について】

国際社会学会は、国別の社会学会（日本の場合は日本社会学会）の集まりである各国社会学会評議会（Council of National Associations）と研究テーマごとのリサーチコミッティ（Research Committee：RC）の二つの組織原理から構成されています。個々の研究者としての活動は特定のRCに所属することから始まり、RCのニュースレターを受け取ったり、RCのセッションで報告したり、さらにはRCの研究活動に積極的に関与するといった活動につながっていきます。いうなればRCとは、分野別の学会組織に近いものと考えるとわかりやすいかもしれません。

なお世界社会学会議組織委員会のウェブサイトで、国際社会学会について解説していますので、ご覧ください（<http://www.wcs2014.net/>）。

【大会参加へのお誘い】

さまざまな関連学協会の会員のみなさまにも、一人でも多くご参加をいただけると幸いです。これまで国際学会とあまり係わってこられなかった方々も、皆様の研究を日本の外に発信するよい機会になるのではないかと思います。できるだけ多くの会員の皆様が積極的にご参加いただけると大変うれしく存じます。どうか前向きに世界社会学会議横浜大会への参加

をご検討いただきますようお願いいたします。100以上の国と地域から、約5000人の社会学者の参加を見込んでいます。これまで取り組んできた研究成果を日本の外に向けて発信する良い機会ともなります。横浜大会はいわばホームグラウンドでの学会報告というまたとない機会ですので、是非、積極的な参加をお考えください。

【RCなどへの登録の仕方】

ISAで研究報告をご希望される場合は、まずご自身のホームページとなる1つか2つのRCに所属することをお薦めします。現在55のRCと、RCの予備段階的な位置づけの3つのWorking Group、5つのThematic Groupがあります。どのようなRCがあるのか、ISAのウェブサイトにリストがあります(<http://www.isa-sociology.org/rc.htm>)。このサイトの右側にはagingに始まる56個のキーワード・リストがありますので、関心のあるキーワードをクリックすると、特定のRCのサイトに移動することができます。

RCに所属する際には、RCごとに定められた20~50ドル程度の登録料が必要となります(4年間有効)。各RCに所属すると、ニューズレターやいろいろな案内がemailで届き、さまざまな国の社会学研究者の仕事をリアルタイムで実感することができます。国際社会学会への具体的な入会の仕方や入会に伴う会員の特典などは、http://www.isa-sociology.org/memb_i/index.htmをご覧ください。オンラインで簡単に入会手続きが完了します。会員資格は4年間有効となっておりますので、2014年の横浜大会に向けて入会されますことを強くお薦めします。

【横浜大会での報告の仕方】

横浜大会での報告や企画提案の場はいくつかあります(締切一覧は補足1をご参照ください)。

1. 個人の報告(とくに国際学会での報告経験が比較的少ない方の場合)は、2013年9月15日締め切りの各RCのCall for Papersへの応募が中心となります。
2. 自分でRCのセッションを企画し、セッションの司会をしようという方は、2013年1月下旬頃から募集が開始されるRCのセッション企画募集(締切はRCごとに異なりますのでご注意ください。)<http://www.isa-sociology.org/congress2014/rc/>で確認できます)に積極的にご応募ください。
3. RC横断的なセッション(補足2参照)を企画することも可能です。とくにこの企画の申込締切は、2013年1月15日と目前に迫っていますので、早急にご準備ください。なお、RC横断的なセッションを検討中の方は、世界社会学会議組織委員会(wcs2014loc@gmail.com)までまずはご一報いただければ幸いです。

これらの日程を念頭に、2014年横浜大会での報告や企画提案を是非積極的にご検討ください。ご質問等がある場合には、世界社会学会議組織委員会メンバーにお問い合わせください(以下担当者のリストを記載しております)。本組織委員会のウェブサイト(<http://www.wcs2014.net/>)でも、随時情報提供をしております。是非、ご参照ください。

以上

【お問い合わせ先】

伊藤公雄 itoida@aol.com
菊澤佐江子 kikuzaw@soc.hosei.ac.jp
佐藤嘉倫 ysato@sal.tohoku.ac.jp
野宮大志郎 d-nomiya@sophia.ac.jp
長谷川公一 k-hase@sal.tohoku.ac.jp
町村敬志 t.machimura@r.hit-u.ac.jp
白波瀬佐和子 sshiraha@l.u-tokyo.ac.jp
油井清光 k-yui@cf7.so-net.ne.jp

(50音順：どなたにお問い合わせをいただいても結構です。)

補足1：【ISA 関連の重要な締切リスト】

| 締切日 | 内容 | 提出先/参照先 |
|------------|---|---|
| 2013年1月15日 | アドホック・セッション等 RC 横断的なセッションの企画案提出の締切 | isa@isa-sociology.or.jp 等 |
| 2013年3月頃 | 2013年1月下旬頃、各 RC が call for sessions (セッション企画募集) を出すので、該当する RC の企画応募の締切、応募方法、応募先に従う。 | 報告を希望する RC のサイトに掲載される応募方法に従う。2013年3月末までには、応募した RC より採否が通知される。 |
| 2013年5月1日 | 第6回若手社会学研究者世界コンペティション (最初に取得した修士号から 2013年5月1日時点で10年未満の方)。日本語で応募可 | http://www.isa-sociology.org/wcys/index.htm を参照。 (上記アドレスは1行) |
| 2013年9月15日 | 2013年4月下旬頃、各 RC が call for papers (報告募集) を出すので、該当する RC の応募方法、応募先に従う。 | 報告を希望する RC のサイトに掲載される応募方法に従う。2014年1月末には、応募した RC より採否が通知される。 |

補足 2 : 【RC 横断的なセッションの企画】

RC 横断的な報告セッションには、大きく 3 つの種類があります。

1. Ad Hoc sessions

特定のリサーチコミッティを超えたやや大きなテーマのセッション。
企画提案の申込に必要な項目等は、下記のサイトで確認できます。

<http://www.isa-sociology.org/congress2014/ad-hoc-sessions.htm>

2. Integrative sessions

少なくとも 3 つの RC (working group や thematic group を含む)、3 つの国別学会、あるいは両者の組み合わせ (例えば、2 つの RC と日本社会学会等) で企画するセッション (全体の採択数は 10)。

企画提案の申込に必要な項目等は、下記のサイトで確認できます。

<http://www.isa-sociology.org/congress2014/integrative-sessions.htm>

3. National Associations 等の提供する sessions

日本社会学会のような国あるいは地域レベルの学会、言語別学会、テーマ別学会等が企画するセッション (各国 2 つまで、全体の採択数は 10)。

企画提案の申込に必要な項目等は、下記のサイトで確認できます。

<http://www.isa-sociology.org/congress2014/associations.htm>